

あいあいあい

I eye 愛

2018年
4月号



あなたの一言が、仲間づくりの大きな力に

理事 後藤咲子

皆さんがあいコープに加入したきっかけはなんでしょうか。私は放射能汚染がきっかけでした。震災の一月前に引越した仙台で知り合いもなく、

またまたインターネットを通じて知り合った方からあいコープは放射能を測っていると聞き、薬をも掴み思いで加入した事を覚えています。

その頃の私は元々食の安全に大した興味もなく、あいコープは単により安全な食品を扱っている業者ぐらいにしか考えていませんでした。しかし今では、あいコープの商品や取り組みがすっかり生活の一部になっていきます。ただ知識を得ただけでは、きつともものぐさ私の生活にここまで浸透することとはなかったでしょう。「知ると考え方が変わるよ」と学習会や生産者訪問に誘ってくれた

私たちの購買行動や興味関心の在り様は、社会への強いメッセージとなって大いに影響を与えています。ですから、あいコープの利用を広げ、組合員同士学びあい伝えていく事は、あいコープの掲げる人・食・環境を大切にする持続可能な社会の実現に直結しています。

「私もそれ使ってるよ、すごくいいよ」という実感のこもった一言をかけてくれる仲間がそばに居てくれたおかげだと思っています。

昨年度はプチパーティーやイベント出展等の取り組みで例年を超える多くの新規組合員さんをお迎えしました。今年度はつながりをさらに深めていく年です。その時力ギになるのは、先輩組合員さんの働きかけです。誘い合ってあいコープの活動に参加してみてください。仲間の声が、無関心層だった私に響いた様に、皆さんの一声には誰かを、ひいては社会を変えられる力があるのです。

CONTENTS

- ▶ 産地研修会 …2
- ▶ まんま通信のあるくらし…4-5
- ▶ GM表示院内学習会 …7
- ▶ 種子法講演報告 …3
- ▶ しおさい&大郷 …6
- ▶ 丁寧な暮らし 焼き海苔の佃煮 …8

有機栽培の先進事例を学び

次世代の生産者たちがビジョン作りをすすめています

1月25日 あいコープ共生会農法研究会 生産者研修会報告



有機農法の実践的な講演に若手から熱心な質問が続きました。



2018年1月25日に仙台市の作並岩松旅館で「2017年度あいコープ地場産地研修会」が行われました。これはあいコープ共生会の「農法研究会」が毎年開催している学習と交流の集いで、今年は近郊産地を中心に9産地31名の生産者が参加しました。

今回は有機栽培の農法技術向上に先駆的に取り組んでいる、有機栽培あゆみの会（茨城県）から丸山訓さんを講師に招き「有機栽培を通して感じたこと 土は活かしている（BLOF入門）」と題した講演を行いました。丸山さんからは有機栽培の理論や技術について、物理性・生物性・化学性に裏付けられた具体的な事例も織り交ぜた、より実践的なお話を聞くことができました。

また、生協報告ではあいコープから有機野菜の販促が好調な今期の青果部門の供給実績や、欠品・品質に関する申し出の状況などの課題について報告しました。

2017年はあいコープの地場

産地（はさま、大郷、七郷、秋保）

ごとに「次世代産地ビジョン」の作成に取り組みました。政府の農業政策の転換や毎年の異常気象、後継者不足など、農を取り巻く状況が厳しさを増す中でこれからも地域に根差した持続可能な農業を守っていくために、次世代の生産者たちが自ら目指す農業とは何か？目指すべき農村の在り方とは何か？を考え、理念とビジョンという形にしています。

今回の研修会でも若手の生産者たちが講師の丸山さんに様々な疑問や質問を投げかけていました。産地ビジョンの完成に向けても大きなヒントを得たようでした。まとめられた次世代産地ビジョンは3月16日（金）にエルパーク仙台で開催された発表会でお披露目されました。どれも熱のこもった発表でした。

次世代を担う生産者たちからどのようなビジョンが示されたのかは次号で報告します。

商品部部长 吉武悠里

家庭の食事からの

放射性物質 摂取量調査

日本生協連では2011年度から、家庭の2日分の食事（6食分と間食）を1サンプルとした放射性物質摂取量調査を行っており、2017年度の結果が3月7日に公表されました。

全国18都県の生協組合員234世帯の普段の食事からサンプルをとって検査し、すべて不検出でした。これで4年連続すべて不検出となっています。

あいコープもこの調査に参加し組合員さんの協力で4サンプルを測定に出しました。4件とも検出限界（1Bq/kg）以上の放射性セシウムは不検出でした。調査の詳細や過去の調査結果は日本生協連のホームページで公開されています。

https://jccu.coop/info/newsrelease/2018/20180307_02.html

種子はみんなのたからもの



2月23日 印鑰智哉氏講演会報告

私たちの食生活には欠かせない米、麦、大豆。それらの種子の生産を行うための国や都

道府県の責任を規定した「主要農作物種子法」。この4月に廃止となります。この法律がこれ

までどのような役割を果たしてきたのか、今後どのような問題が起きるのか。日本の種子を守る会事務局アドバイザーの

印鑰智哉氏をお迎えして、「種子はみんなのたからもの」と題し、種子法廃止の問題を考える学習会があいコープと共生会の共催で開かれました。

種子法廃止の理由は、「民間企業の投資意欲を割いてしまうから」これだけです。農業とは全く関係のなかった化学企業が種子や農薬、化学肥料、そして遺伝子組み換えを作り出し、農業を支配しだしているのだそうです。これまで地域にあった品種が、過不足なく、計画的に生産され、安価な価格で生産農家に提供されてきましたが、今後地方の品種は作られなくなったり、価格が高騰するな

どということが危惧されています。

これらの話を聞き、日本の農業は、私たちの食生活はどうなってしまうのかと不安になります。しかし、あいコープみやぎも発起人となっている「日本の種を守る会」が種子法に代わる新しい法律の制定を求める署名活動が進められています。

都道府県ごとに地域の品種や種子計画を守る動きも出てきています。

私たちにできることはまずこの問題を知ること。そして命の源である種子を守っていきたいと思います。

理事 原子良恵



講師の印鑰智哉 (いんやくともや) 氏

あいコープ共生会第29回総会報告



2/23 共生会総会 (秋保緑水亭)

種子法廃止問題の講演の後、休憩を挟んであいコープの運動に連帯する生産者・業者の集まりであるあいコープ共生会の総会が行われました。幹事会から一年間の活動と決算の報告、活動方針と予算案が提案され拍手承認されました。また、あいコープみやぎ商品部の古武課長から今後の商品政策の課題、あいコープふくしまからは「あいコープ祭り」を軸にした生協活動の報告も行われました。



郷右近秀俊
共生会会長

まるご食品
濱口利文 議長



2/24 分科会 開催



「次世代の農産産地ビジョンの検討」産直産地として生協と共にこれから何を目指していくのか議論を深めました。

「組合員との交流企画、まんま通信企画のアイデア」生産者・商品部から組合員にどんな発信ができるのかをみんなで考えました。



mamma | tsushin | まんま通信

のあるくらし

『まんま通信』でお買い物をするとき、皆さんは何を考へながら注文をしていますか？

おいしさ？価格？安全・安心？自分の健康や家族の笑顔を思い浮かべて選ぶ商品ですが、もっと視点を広げてみると、その先にはあいコープの基本理念『私たちは協同の力で、人・食・環境を大切に持続可能な社会をつくれます。』が見えてきます。

「まんま通信のあるくらし」は、自分の安心だけではない、みんなのため、環境のためになるくらしなのです。



あいコープの基本理念

私たちは協同の力で、人・食・環境を大切に持続可能な社会をつくれます。

食

食の自給と安全

より自然で安全な食べ物を私たちの手で

環境

自然環境保全

被害者にも加害者にもならない暮らしを

人

地域福祉の推進

誰もが安心して暮らせる地域づくりを

障がいのある人もない人も一緒に作った商品



社会福祉法人みんなの輪は県内18か所に事業所を展開する法人で、あいコープの大切なパートナーです。まんま通信には、みんなの輪のスタッフ、利用者の皆さんが関わった商品がたくさん掲載されています。

例えば…

- ◆米粉を使ったパン(パン工房わ・は・わ)
- ◆米粉の焼ドーナツ(わ・は・わ大衛)
- ◆粉せっけんさいかち(わ・は・わ広瀬) ◆乾燥系こんにゃく(わ・は・わ)
- ◆こめ豚セット(あいあいファームわ・は・わ田尻)
- ◆いちご/いちごジャム(わ・は・わ美里) 『わ・は・わ』は WA・WA・WA と読みます。

いのち、環境によりそう産直米



ネオニコチノイド系農薬不使用をはじめ、極力無農薬栽培に近い育て方をした産直のお米です。主な県内の産地に、大郷町、仙台市七郷、登米市などがあります。

大郷にある交流田では、毎年組合員親子が田植えや草取り、生きもの調査などを行っています。産直米の田んぼは、たくさんの生き物が息づき、私たちにはもちろん、すべての命に優しい場所になっています。

公正な世界を求めて



バラゴンバナナ



エコシュリンプ



フェアトレードチョコレート

公正な貿易を行う民衆交易。多国籍企業、巨大商社を介さず、人から人へ直接ものを届ける優しい交易を応援します。

バナナのプランテーション栽培による農業の空中散布にさらされる人を減らしたい。カカオ収穫に伴う児童労働をなくしたい。安全な食べ物を作ろうとしている人たちには、対価をきちんと受け取ってほしい。それが叶う、商品です。



プランテーションの中が通学路。子どもたちは頭上から農薬を浴びることも

あいコープ食材を味わえるおみせ ゆがふ

名取市ゆりが丘のご自宅にお店を構える「パン工房 ゆがふ」さん。天然酵母を使用した美味しいパンとして、イベントなどで目にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。こちらのお店のベーコンエピとソーセージパンにはあいコープの鎌倉ハムさんの商品が使われています！娘さんのアトピーがきっかけで卵不使用・ホシノ天然酵母・国産小麦にこだわったパン作りを始められたそう。娘さんが大きくなった今でも当時の気持ちを忘れずにパン作りを続けられているそうです。



営業 火・木・土 11:00～
(8、28日と土はイベント出店のためお休みの時があります)
名取市ゆりが丘 4-15-17
022-386-6444

2/21(水) 「わ・は・わ大衛見学」報告

2月21日、3月1日の開所を前に社会福祉法人みんなの輪わ・は・わ大衛を訪問しました。就労継続支援事業(B型)・生活介護事業・短所入所・日中一時支援事業が行われます。廊下も広く、明るい建物内は木の香りでいっぱい。地下熱式の暖房で素足でも寒くありません。設備が整った工房では利用者さん達が米粉のドーナツや焼き菓子の製造を行います。居心地が良く交流スペースもあるので、組合員活動でも活用させて頂きたいと思ひます。



理事 三浦一枝

おだいのたねまき



10万年後の人類に責任を持つために

「チャルカ上映会・もんじゅ報告会」

3月14日、日立システムズホールにて「チャルカ」未来を紡ぐ糸車」上映会が行われ、約50名が参加しました。

「10万年危険な核のゴミ」を題材にしたこの作品は、日本がいかに核廃棄物の地層処分に適していないかをしっかり検証するとともに、日本だけでなく、世界で原発は要らないと訴え続ける人々、本来の幸せとは何かを追求する人々の姿を描いています。

原子力発電がこの国に必要な
 必要か、意見は対立しますが、



仮に原発がどんなに安全でも事故を起こさないものだととしても、核のゴミの問題は避けて通れません。それを見て見ぬふりをして今まで生み出してしまっただけの核のゴミ。その処分法も未定のまま新たなゴミを生みだしていることにあらためて憤りを感じました。

上映後には昨年11月に委員が参加した「もんじゅ視察ツアー」の報告会が併催され、参加者は真剣に聞き入りました。

私たちの住む宮城県には、女川原発の再稼働問題の他に8千ベクレル以下の放射能汚染廃棄物焼却処分問題も迫っています。いよいよ試験焼却が始まろうとする今、私たちは原発が生み出す負の産物をもう一度真剣に考え、行動を起こす必要があると感じました。

脱原発・エネルギーシフト
 委員会担当理事 鈴木真奈美

まんま通信のあるくらし

これからの交流にも夢が膨らむ
 「思い思いのカップちらし寿司とともに」



ランチをいただきながら、今年度の活動をふりかえり、地区委員さんからは「一年を通して活動することで生産者の苦労を知ることができ、また一緒に活動した子供たちにとっても、とてもいい機会だった」との意見が出ました。

生産者のみなさんもこのように交流を続けていくことを大切に思つて下さっていて、今年度の反省を踏まえつつ来年の構想まで話は発展し、とても有意義な時間となりました。

お忙しい中ご参加いただいた大郷みどり会のみなさま、ありがとうございました。

しおさい地区委員会担当理事
 阿部 麻利子

調理は地区委員のみなさんで和気あいあいとおしゃべりしながら手際よく準備を進めて行きました。ひな祭りが近いこという事もあり、バイキング形式で参加者がそれぞれにカップちらし寿司を作りました。



3/2 (金)
 しおさい地区
 企画報告

理事会議事録抄

2018年3月6日(火)
 ▼2018年通常総代会へ至る日程を確認した。▼2017年度活動・事業報告案の策定について協議した。▼2018年度活動・事業方針案策定について協議した。▼2018年度組合員活動テーマを検討した。▼宮城の原木権茸見学ツアー企画書を承認した。▼「種子(たねまき)プロジェクト」の提案を承認した。▼石けん環境委員会「春の親子遠足」企画書を承認した。▼「大気汚染調査」協力を承認した。▼県連集実行委員会及び東北地連組合員活動交流会実行委員を選出した。▼「憲法を生かす全国統一署名」協力を承認した。

組織概要

(2018年2月分)

【組合員数】	14,311名
【供給高】	191,015千円
【一人実利用高】	5,378円/週
【出資金】	1,144,257千円



●「今夜?ラーメンだよ」「え〜!やだ!どこの?」「あいコープの」「なら食べる!」

仙南・すずぎ親子

遺伝子組み換え表示を求め続けよう

2月1日、衆議院第一議員会館で、『消費者による消費者のための遺伝子組み換え表示検討会・院内学習会』が行われました。これは消費者庁が昨年立ち上げた「遺伝子組み換え表示制度に関する検討委員会」(以下・検討委員会)の議論が、私たちの望む方向ではない事を受け、日本消費者連盟を始めとする諸団体が立ち上げ、あいコープも賛同団体に加わって開催された学習会です。

検討委員会は全6回行われ、今年3月14日に終了しました。私たちは「全ての商品に表示を」「意図せざる混入率を限りなく低く」などを求めてきましたが反映されることはなく、「遺伝子組み換えでない」表示に新たな問題が生まれてしまいました。これまで遺伝子組み換え食品は、混入率が5%以下であれば任意で「遺伝子組み換え食品でない」という表示ができましたが、今後は0%でないといえない」という表示がでなくなるので

副理事長 高野恵美子



私のオススメ商品



こんにちは！春の陽気が気持ちいいですね。私のオススメ商品は「加美よつばのトマトケチャップ」です。加美町で採れた完熟トマトを贅沢に使い、トマトのうま味がひと際感じられる商品です。

ナポリタンやピラフにすると他には調味料がいらないほど！みそ汁にスプーン一杯入れると、トマトに含まれるアミノ酸が深い味わいを演出してくれます。和洋中どれにも使っていただけるオールマイティ選手。冷蔵庫に一本ぜひどうぞ。

事業部 青葉 B 岡崎茂大

編集後記

いよいよ新学期！寒い冬、雪の下で頑張っていた小さな芽が力強く出てくるのを見て感動を覚え、無条件に毎年ワクワクしてしまいます。更に春は出会いの季節、ということ、今月号から新しい編集の仲間が加わりました。敏腕理事の鈴木真奈美さんと、マイペースの私、牧梓咲です。書面の随所に新しい「芽」も感じて頂けたら、と思います。今年は庭のふきのとうの芽を摘んで天ぷらにしました。身近にある「食」を安心・安全に食べ続けていきたいと思う今日この頃です。

理事 牧 梓咲

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中！

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 4/10 年金相談**
相談員：社会保険労務士 清野道子氏
相談時間：13:30～15:30
- 4 10 法律相談**
相談員：弁護士 松澤陽明氏
相談時間：13:30～15:30
- 4/18 子ども相談**
相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相談時間：10:00～12:00
- 4/20 思春期相談**
相談員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相談時間：9:30～11:30

お申込み・お問合せはジョイケア事務局へ



022

284-7277

平日 9:00～17:00

電話相談について

- ▶各相談窓口前週の日曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。
- ▶予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア利用状況 (2018年1月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	51件	利用延べ人数	41名
集団託児	14件		
慶弔・出産	15件	◆ケアメイト	
電話相談窓口	2件	稼働延べ人数	43名
計	82件		



● 実はあいコープの納豆って普通に売ってるのより全然臭いが少ない

太白 M・A

ていねいな暮らし

手をかけて、気持ちを込めて
時間をかけて作り上げる幸せ。
丁寧に暮らす贅沢をご一緒に。

その六、焼海苔の佃煮



小さい頃時々食卓に上がっていた『ごはん〇すよ』。甘くて美味しいと思ってたなあ、何十年食べていなかっただろうか？（一体何入っていたのだろうか？）・・・とそんな記憶を思い起こさせる優しく甘いのりの香り。ほかほかご飯にのせればみんなが虜。編集担当・高野理事から頂いた手作り品は我が家では子ども達を取り合い、すぐになくなってしまいました。実は簡単に手作りできることをご存知でしたでしょうか？冬、鍋をかけられるストーブや薪ストーブをお持ちの方は上に鍋をのせてコトコト。焦げ付かないように水の量さえ気を配れば、失敗ありません。これが信頼できる調味料を使って、添加物を入れずに自分好みの味で作れるのです。なんと素晴らしいこと！おススメはちょっと手間でも大量にまとめて作ってしまうことです。熱湯消毒した瓶に詰めれば長持ちしますよ。これがあればごはん何倍も進んでしまうこと間違いなしです！

(牧)

焼海苔の佃煮（やきのりのつくだに）

- ① 焼海苔を一口大に手でちぎる。
- ② ①とたっぷりの水、日本酒、黒糖、しょうゆ、刻んだ鷹の爪を加え火にかける。
(味が煮詰まるので最初は調味料を少しずつ)
- ③ 煮立ったら火を弱め、煮詰めて味を調える。
- ④ あれば仕上げに黒ゴマを加える。



沢山ちぎって・・・



鍋にたっぷり



あいコープのしょうゆで味つけ



瓶に詰めます

Calendar * 今後のイベント *

委員オリエンテーション

- 4/18・・・イズミティ 21
- 4/19・・・柳生市民センター
- 4/24・・・エルパーク仙台
- 4/27・・・あいコープセンター

遺伝子組み換え

GM ナタネ自生調査

- 4/11・・・仙台港 10:00～12:30
- 4/26・・・石巻港 11:00～13:00

4/26(木)

GAP 学習会 (最終)

場所／ あいコープ日の出町センター
時間／ 14:00～16:00

地区委員さん募集中！ 一定例会見学も受付中～

地区委員会は

楽しい！
おいしい！
学べる！！

あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop

(担当：組織運営室長 豊嶋)

